

八雲病院の医療機能の移転について ～医療(療養)環境の充実の観点から～

現状

- 筋ジストロフィー患者及び重症心身障害(児)者は、患者の高齢化に伴う生活習慣病などの合併症の増加が見込まれており、現在の医療機能では対応できる専門科(医)の確保・充実が困難。
※ 筋ジストロフィー患者;平均年齢30.9歳(最高齢は66歳)、重症心身障害(児)者;平均年齢43.6歳(最高齢は71歳)
- 筋ジストロフィー患者は、病院への交通アクセス(通院等)の不便さ及び札幌圏域に筋ジストロフィー等の専門医療機関がないことへの不安などを含め、札幌圏域への新規開設を強く要望している。
- 筋ジストロフィー患者は、8割が道央・道東・道北から、重症心身障害(児)者は、5割超が道南から来院している。
(八雲病院から札幌まで約235km、函館まで約76km)
- 一部の筋ジストロフィー病棟、外来治療棟及びサービス棟などは、40年以上経過。

これらを改善・解消するために

医療機能等の充実

<生活習慣病を併発する患者への対応>

- 筋ジストロフィー患者の要望を踏まえ、札幌圏域(北海道医療センター)に移転。
- 重症心身障害(児)者は、今後、患者家族の希望先を踏まえ、道央圏及び道南圏(北海道医療センター及び函館病院等)などへの移転調整。

<患者の療養環境の向上>

- 移転に伴い必要な建物整備を行い、入院患者の療養環境を改善。

<在宅患者及び外来患者への迅速な対応>

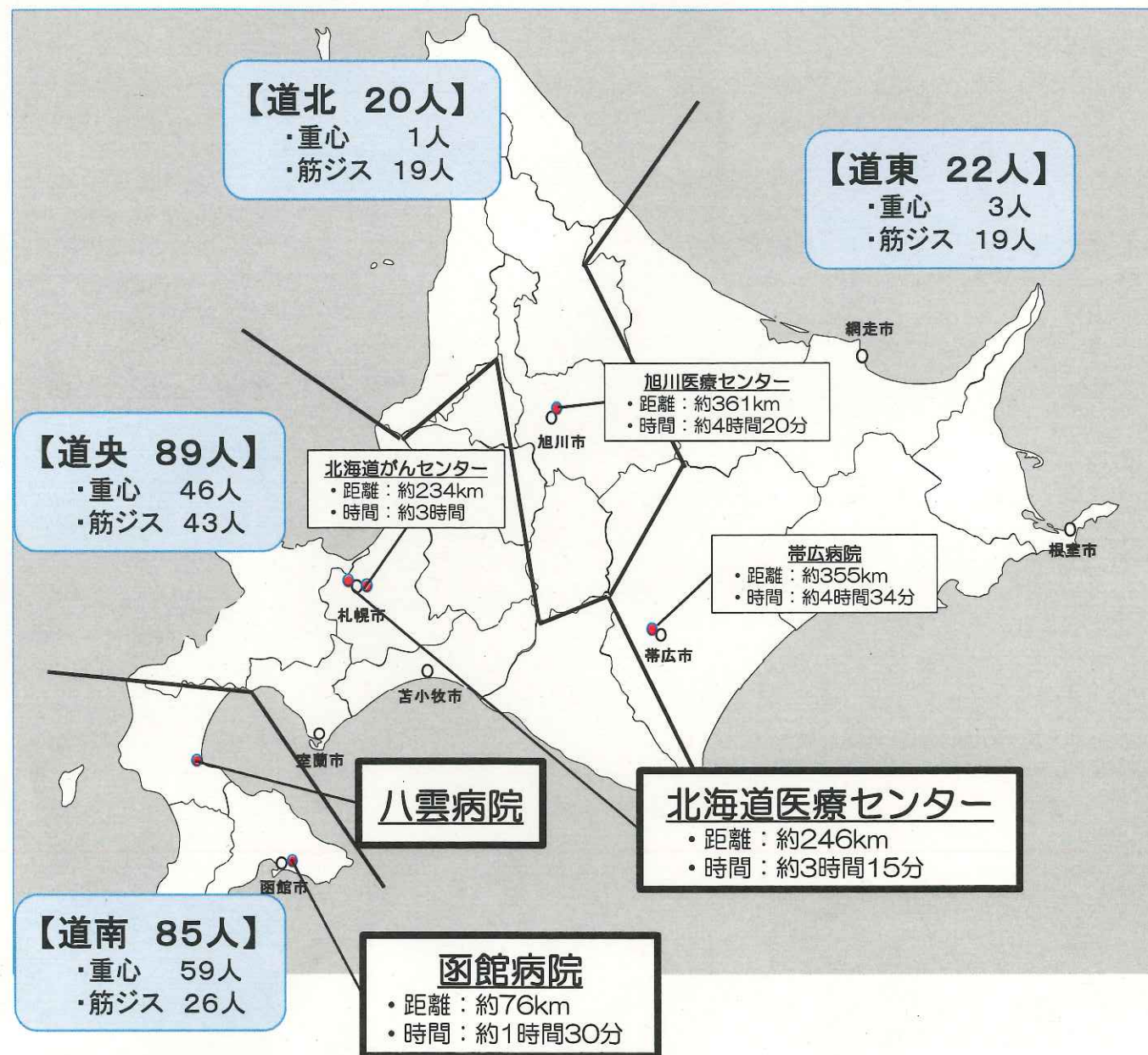
- 在宅患者の緊急時や外来患者への迅速な医療の提供。

<病院へのアクセスの改善、利便性が向上及びリハビリ・ケアの充実>

- 八雲病院に比べ、道内及び道外から来院される患者家族の利便性が向上する。
- 併せて、非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)を活用した呼吸リハビリテーション・ケアの充実。



八雲病院の入院患者について (平成26年12月1日現在)



地域		入院患者数		
		重心	筋ジス	合計
北海道内	道南	59	26	85
	道央	46	43	89
	道北	1	19	20
	道東	3	19	22
	道内合計	109	107	216
北海道外		6	2	8
合計		115	109	224

※距離・時間は、八雲病院から
主要な幹線道路や高速道路を
利用した場合の距離・時間



各病院の概要

【平成26年10月1日現在】

	八雲病院 (八雲町)	北海道医療センター (札幌市)	函館病院 (函館市)
運営病床数	240床 (内訳) 筋ジス 120床 重心 120床	500床 (内訳) 一般 410床 結核 50床 精神 40床	251床 (内訳) 一般 241床 結核 10床
常勤医師数	2名	85名	21名
主な医療機能	筋ジストロフィー、重症心身障害児(者)への医療	神経筋疾患・成育・免疫異常・がん・循環器病・呼吸器疾患・腎疾患などへの医療、地域医療支援病院、救命救急センター、地域災害拠点病院など	循環器病・がん・呼吸器疾患などへの医療、地域がん診療連携拠点病院、二次救急医療など

独立行政法人国立病院機構の概要

我が国最大の病院ネットワーク

○ 平成16年にNC及びハンセン病療養所を除く国立病院療養所を独立行政法人化

1. 病院数：143病院
2. 病床数：約5.2万床(全国シェア3.3%)
3. 職員：約5.8万人

国立病院機構のネットワーク

《5疾病5事業》

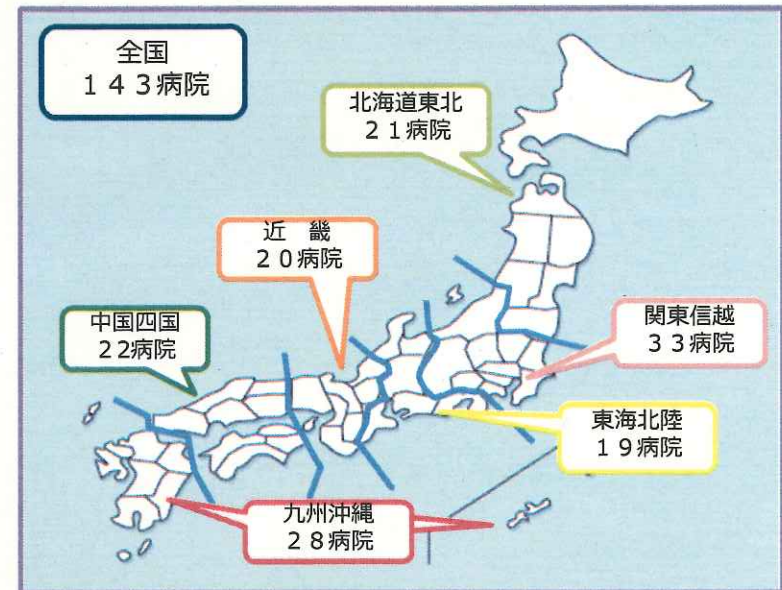
【がん】 72病院 診療拠点病院38病院	【救急医療】 救命救急センター18病院 輪番参加病院58病院
【急性心筋梗塞】 56病院	【災害医療】 災害拠点病院29病院
【脳卒中】 81病院	【へき地医療】 へき地拠点病院8病院
【糖尿病】 59病院	【周産期医療】 総合周産期5病院 地域周産期19病院
【精神】 医療計画記載 各都道府県策定中	【小児医療】 小児医療拠点病院7病院 救急輪番参加病院39病院

《その他ネットワーク》

【感染症】 42病院
【肝疾患】 41病院
【免疫異常】 36病院
【骨・運動器疾患】 42病院
【血液疾患】 31病院
【感覚器】 17病院
【消化器疾患】 52病院
【成育医療】 35病院

セイフティネット系(民間では提供困難な医療)

【重症心身障害】 73病院	【筋ジス・神経難病】 64病院	【精神】 31病院	【結核】 49病院	【エイズ】 71病院
------------------	--------------------	--------------	--------------	---------------



セイフティネット系のシェア

		国立病院機構	
		病床数等	シェア
① 心神喪失者等医療観察法に基づく入院	病床数	421床	58.8%
② 筋ジストロフィー	病床数	2,285床	95.7%
③ 重症心身障害	病床数	7,510床	39.1%
	入院患者数/日	7,374人	39.6%
④ 結核	病床数	2,852床	37.1%
	入院患者数/日	1,229人	43.1%

※(時点)①:平成25年3月、②:平成25年4月、③④:平成23年10月

東日本大震災への対応

○医療班など延べ約1万人日の職員を被災地に派遣し、切れ目のない医療支援活動を実施
 〈主な支援活動〉
 被災地での巡回診療、メンタルヘルスケア、福島第一原発事故に伴う警戒区域への一時立入りにおける中継基地での医療活動等

新型インフルエンザへの対応

○厚生労働省の要請に基づき、全国の検疫所等へ、
 ・医師延227人日、
 ・看護師延272人日を派遣
 ○新型インフルエンザワクチンの治験等を迅速に実施し、有効性安全性を検証